

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名	一般国道49号 猪苗代拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県耶麻郡猪苗代町大字壺楊字南浜 至：福島県耶麻郡猪苗代町大字長田字大堰				延長	7.3km
事業概要	<p>一般国道49号は、福島県いわき市と新潟県新潟市を結び、広域交流の促進及び沿線市町村の連携を図る幹線道路である。</p> <p>猪苗代拡幅は、猪苗代町内（猪苗代湖等の観光地）における休日観光期の交通渋滞の緩和や沿道環境の改善等を目的としている事業である。当道路の整備により、新たな渋滞ポイント交差点（志田浜交差点等）の渋滞解消による交通円滑化や沿道住民の安全確保等に大きく寄与するものである。</p>					
S63年度事業化	都市計画区域外	H元年度用地着手	H3年度工事着手			
全体事業費	約150億円	事業進捗率	67%	供用済延長	1.1km	
計画交通量	14,200台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	平成16年		
	1.4	60/183億円	259/263億円			
	(残事業)	事業費：38/157億円	走行時間短縮便益：205/213億円			
	4.3	維持管理費：22/26億円	走行費用減少便益：37/32億円			
			交通事故減少便益：18/18億円			
感度分析の結果	残事業・事業全体について感度分析を実施					
【事業全体】	交通量変動：B/C=1.6(交通量+10%) B/C=1.3(交通量-10%)			【残事業】		
	事業費変動：B/C=1.4(事業費+10%) B/C=1.5(事業費-10%)			交通量変動：B/C=4.8(交通量+10%) B/C=4.0(交通量-10%)		
	事業期間変動：B/C=1.3(事業期間+20%) B/C=1.6(事業期間-20%)			事業費変動：B/C=4.1(事業費+10%) B/C=4.6(事業費-10%)		
				事業期間変動：B/C=4.0(事業期間+20%) B/C=4.6(事業期間-20%)		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（観光ピーク時において旅行速度の改善が期待される） 個性ある地域の形成（猪苗代湖周辺の観光施設へのアクセス向上が期待される） <p>他17項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	猪苗代拡幅は休日及び観光期の交通混雑の緩和、沿道環境の改善等に重要な役割を果たすことが期待されており、会津若松市をはじめとする関係2市15町11村の首長で構成される福島県会津総合開発協議会より早期整備の要望（平成16年7月7日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	【執行済み額】事業費：100億円（進捗率67%）うち用地費：37億円（進捗率80%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地補償協議で時間を要していたが、現在は事業進捗に係わる問題は解消しており、耶麻郡猪苗代町大字金田～大字中小松間（L=1.8km（バイパス部））を平成17年度の暫定2車線供用を目標に事業推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等	長瀬川橋（L=193.5m）上部工において、耐候性鋼材、機能分散支承を用いる等コスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

